



夢の期待を乗せ 三陸鉄道が開業

三陸沿岸地域住民の悲願であった三陸鉄道が4月1日に開業し、三陸が一本の鉄路で結ばれた。

80数年の長い道のりを経て、いま現実のものとなった三陸鉄道の新車両が、大きな夢と期待を乗せて雄大なリアスの自然景観を縫うように快走する。

南北両リアス線を走るアイボリーホワイトに赤とマリンブルーのストライプが入った新車両は、座席

もゆったりとし、乗り心地は満点だ。

三陸鉄道開業の1日は、村内を初めて鉄道が通る下閉伊郡田野畑村をはじめ、沿線市町村はどこも祝賀ムード一色。出発・開業式やパレードなどの祝賀行事が繰り広げられ、遠方から訪れた鉄道ファンと一緒に開通を祝っていた。(写真は、北リアス線の上りと下りが行き交う田老駅)

